



令和8年度 すさき野外博物館

しんじょう

2026. 10. 20
すさき・かわう
そクラブ会報
—No.39—
発行：すさき・
かわうそクラ
ブ事務局

シンデ池の 生きものの観察会

5月10（日）

安和のシンデ池で、生きものの観察会を開催しました。池に入って生き物を採集するグループと池周辺を散策し採集するグループに分かれて行動しました。

池グループ

胸長を着用後、4～5人ずつで班分けをし、実際に池に入ってシンデ池生物研究所の活動を体験しました。採取時間は1時間ほどで、大人から子どもまで夢中になって、ヤゴやイモリ、おたまじゃくしやメダカなどたくさんの生き物を捕まえることができました。生きものを見つける度に、子どもたちが歓声を上げており終始和やかな雰囲気でした。実際に池に入っ

池周辺グループ

研究員の方に網の使い方から教えていただき、主に就学前の子どもたちと保護者が、網を持ち草原を散策し、生き物を収集しました。石を裏返すと普段は気づかないような小さな虫がいたり、数種類の蝶がいたり意識して探してみるとたくさんの生き物がいて皆さん驚いている様子でした。所長である植村さんの「シンデ池を残したい」という想いから始まった調査に、多くの人が賛同し活動が継続されています。須崎市外からいらした参加者の方にも、シンデ池生物研究所の活動を知っていただく貴重な機会になりました。



ホタルとカエルの タベ

5月31日（土）

新莊公民館と坂ノ川付近にて、ホタルとカエルの観察会を開催しました。

まずは、講師の方よりホタルやカエルの生態について説明があり、鳴き声や光り方を実際の音源や映像を確認しながら学んでいきます。参加者の方々が貴重なお話を興味深く聞き入っていました。

その後、観察のために、坂ノ川へ移動し、日没の時間まで周囲の環境を確認します。ホタルが見えるまでの間でも、アオダイショウやアオサギを発見し、驚きの声が上がっていました。



日没の時間になると、ホタルの観察に備えていきます。息を止めて、川を見つめているとホタルの光が微かに見えました。日頃はなかなか見られないホタルを見て、皆さん嬉しそうな様子。ゲンジボタルとヒメボタルの光り方の違いをじっくり観察しました。

それと同時に、予習したカエルの鳴き声にも耳を傾けます。この日は、カジカガエル、アマガエル、シュレーゲルガエル、又マガエルの鳴き声が聞こえました。普段は意識を向けない音に集中することで新鮮なものとして響いてきます。

多くの方に参加していただき、皆さま満足した様子で帰路についていました。

